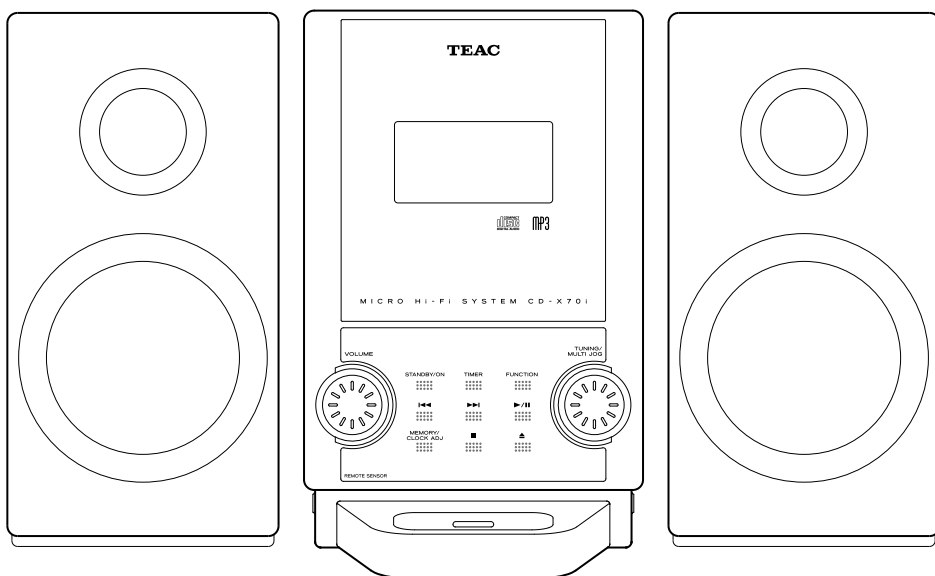


## 取扱説明書

# CD-X70i

## CDサウンドシステム

ティアック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。  
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に  
保管してください。  
末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。



Made for

iPod iPhone

COMPACT  
disc  
DIGITAL AUDIO

# 目次

安全にお使いいただくために.....	3
1. 使用上の注意.....	6
2. 接 続.....	6
3. 各部の名前とはたらき.....	8
4. iPod/iPhone.....	10
5. ディスクについて.....	10
6. MP3について.....	11
7. リモコンの使い方.....	12
8. 基本操作.....	12
9. 時刻合わせ.....	13
10. iPod/iPhoneを聴く.....	13
11. ディスクを聴く.....	15
12. プログラム再生(CD).....	17
13. ラジオを聴く.....	18
14. 目覚ましタイマー.....	19
15. 困ったときは.....	20
16. 仕 様.....	21
保証とアフターサービス.....	22
保 証 書.....	裏表紙

MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.

iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.




"Made for iPod" and "Made for iPhone" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.

Other company names and product names in this document are the trademarks or registered trademarks of their respective owners.

# 安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

 <b>警告</b>	以下の内容が無視して誤った取扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります
 <b>電源プラグをコンセントから抜く</b>	<p>万一、異常が起きたら          煙が出たり、変なにおいや音がするときは          機器の内部に異物や水などが入ったときは          この機器を落したり、キャビネットを破損したときは          すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。          異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)に修理をご依頼ください。</p>
 <b>禁止</b>	<p><b>電源コードを傷つけない</b>          電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きしない          電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない          コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)に交換をご依頼ください。</p> <p><b>電源プラグにほこりをためない</b>          電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。</p> <p><b>交流100ボルト以外の電圧で使用しない</b>          この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。</p> <p><b>機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない</b>          内部に水が入ると火災・感電の原因となります。</p>
 <b>強制</b>	<p>この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおく          また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置く          ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける          すきまをあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p>
 <b>分解禁止</b>	<p>この機器のキャビネットは絶対に外さない          キャビネットを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)にご依頼ください。</p>
 <b>分解禁止</b>	<p>この機器を改造しない          火災・感電の原因となります。</p>

# 安全にお使いいただくために(続き)



## 注意

以下の内容が無視して誤った取扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります



### 強制

オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する  
また、接続は指定のコードを使用する  
それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。

ヘッドホンを使うときは、電源を入れる前に音量を最小にする  
突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにする  
異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。



### 禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない  
湿気やほこりの多い場所に置かない 風呂、シャワー室では使用しない  
調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない  
火災・感電やけがの原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近付けない  
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない  
感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない  
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



### 電源プラグを コンセントから 抜く

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す  
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜く  
感電の原因となることがあります。




## 電池の取り扱いについて

本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。



### 注意

電池に関する注意

 強制	<b>電池を入れるときは、極性(プラス ⊕ とマイナス ⊖ )の向きに注意し、「⑦リモコンの使い方」に表示されているとおりに正しく入れる</b> 向きを間違えると破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	<b>長時間使用しないときは電池を取り出しておく</b> 液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もしも液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
 禁止	<b>指定以外の電池は使用しない</b> 破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
 分解禁止	<b>金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない</b> ショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。
	<b>分解しない</b> 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。



愛情点検

電源ケーブルや本体に異常がないか、定期的に点検してください。  
内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。  
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。  
5年に1度は、販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)に内部の点検をご依頼ください。  
費用についてはお問い合わせください。

## ① 使用上の注意

- ディスクが内部に入っているときに、本機を傾けないでください。故障の原因になります。
- 再生中はディスクが高速回転しているので本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。
- 本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出してください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。
- 本機がスタンバイ状態のときは、待機電力が消費されます。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなる場所に置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。

### お手入れ

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。

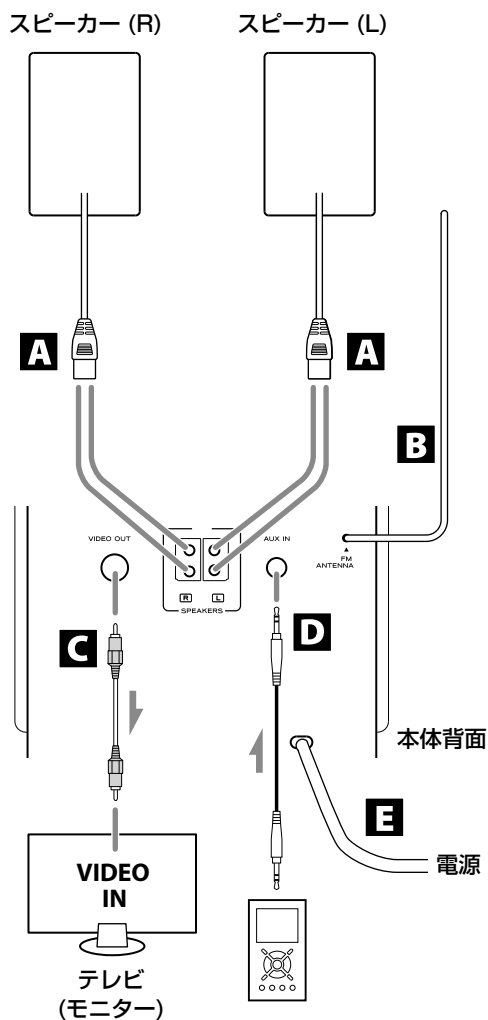
化学ぞうきんやシンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

△ お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

## ② 接 続

△ 全ての接続が終わってから電源をオンにしてください。

- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
- ノイズ発生の原因となるので、各接続ケーブルを電源コードと一緒に束ねないでください。



**A スピーカー端子(SPEAKERS)**

右のスピーカーから出ているプラグをR端子に、左のスピーカーから出ているプラグをL端子に接続します。

△ プラグは無理に押し込まないでください。差し込めないときは、プラグの上下を逆にして差し込んでください。

△ 付属のスピーカー以外は接続しないでください。

**B FMアンテナ(FM ANTENNA)**

FM放送の受信中にこのアンテナを伸ばして、受信状態が一番良い位置を探してください。本体の位置を変えたときは、アンテナの位置の再調整が必要になることがあります。

- AMアンテナは本体に内蔵されています。

**C 映像出力端子(VIDEO OUT)**

本機のドックに接続されたiPod/iPhoneのビデオ信号を出力します。

市販のRCAビデオケーブルを使って、テレビやモニターのコンポジットビデオ入力端子と接続してください。

また、iPodの、「ビデオ - ビデオ設定 - TV出力」メニューで「オン」または「確認」を選んでください。

(iPod Touch\*とiPhoneにはこのメニューはありません)

\*iPod Touch第一世代:ソフトウェアバージョン2.2以降

- 「確認」を選んだ場合は、再生の度にビデオ出力するかどうかを選びます。
- iPod/iPhoneからビデオ出力すると、iPod/iPhoneのディスプレイではビデオを再生しません。

**D 音声入力端子(AUX IN)**

付属のステレオミニプラグケーブルを使って、携帯型オーディオプレーヤーなどのヘッドホン端子(または音声出力端子)と接続します。

入力ソースに「AUX」を選び、接続した機器で再生を始め、本機と接続した機器の両方で音量を調節してください。

- プレーヤーのヘッドホン端子と接続した場合は、プレーヤー側の音量を調節しないと、本機から音が聴こえないことがあります。
- プレーヤー側の音量を上げすぎると、音が歪むことがあります。その場合は、まず接続した機器の音量を歪みが無くなるまで小さくしてから、本機の音量を調節してください。

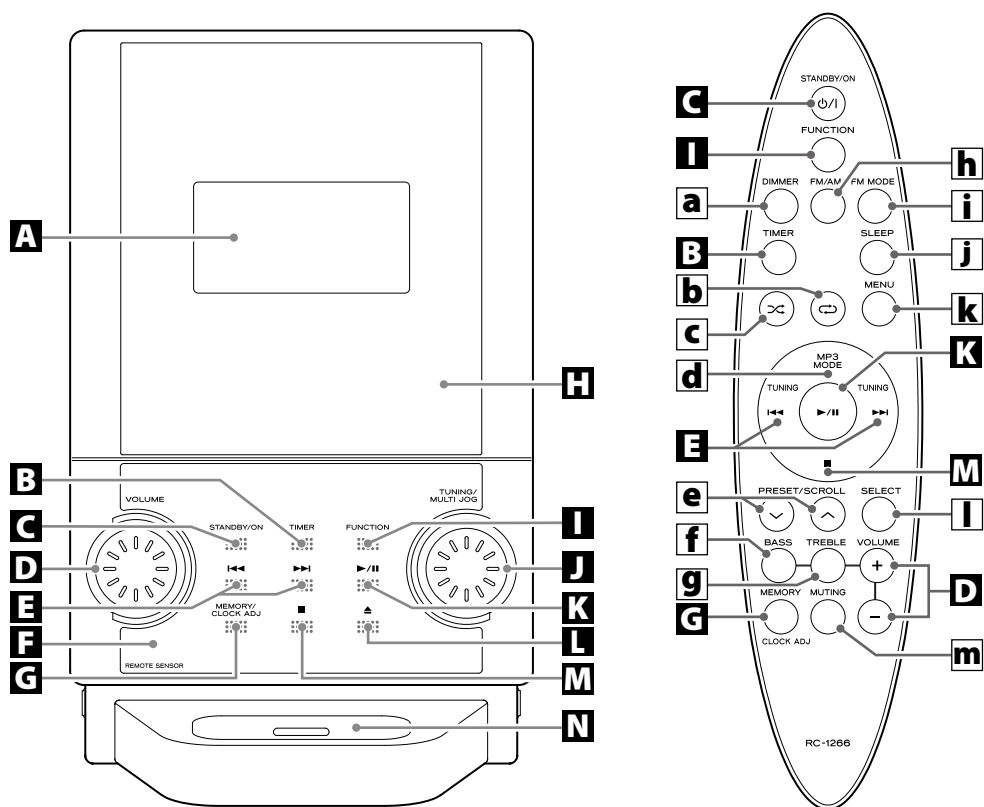
**E 電源コード**

全ての接続が終わったら、電源プラグをAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。

△ 交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。

△ コンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らずに、必ずプラグを持って行ってください。

### ③ 各部の名前とはたらき



本体とリモコンに同じ機能のボタンがある場合、この取扱説明書ではいずれかのボタンを使って説明していますが、記載されていない方のボタンも同様に使えます。



**A ディスプレー**

時計や曲名などを表示します。

**B タイマー(TIMER)**

目覚ましタイマーの設定に使用します。

**C 電源(STANDBY/ON) (⏻/⏻)**

電源のオン/スタンバイを切り換えます。

**D 音量(VOLUME)**

音量を調節します。

**E スキップ/選局(⏮/⏭)**

入力ソースがiPodまたはCDのとき、前または次の曲にスキップします。押し続けると、早送り/早戻しができます。ラジオ受信中に、選局に使用します。また、時計や目覚ましタイマーの設定に使用します。

**F リモコン受光部**

リモコンを使用するときは、リモコンの先端をここに向けて操作してください。

**G メモリー(MEMORY)/時刻合わせ(CLOCK ADJ)**

入力ソースがCDのとき、プログラム再生に使用します。ラジオ受信中に、放送局をプリセットするのに使用します。また、本機の時計の時刻合わせにも使用します。

**H ディスクカバー****I 入力切替(FUNCTION)**

このボタンを押すたびに入力ソース(iPod、CD、FM、AM、AUX)が切り換わります。

**J 選局(TUNING)/設定(MULTI JOG)**

入力ソースがCDのとき、再生停止中に選曲するのに使用します。ラジオ受信中に、選局に使用します。また、時計や目覚ましタイマーの設定に使用します。

**K 再生/一時停(▶/⏸)**

入力ソースがiPodまたはCDのとき、再生を開始/一時停止します。

**L ディスクカバー開閉(⏏)**

入力ソースがCDのとき、ディスクトレイを開閉します。入力ソースがCD以外のときは開閉できません。

入力ソースがCDのときでも、iPod/iPhoneがドックにセットされていると、ディスクカバーは開きません。ディスクカバーを開けるときは、iPod/iPhoneをドックから外してください。

**M 停止(■)**

- 入力ソースがCDのとき、再生を停止します。
- 入力ソースがiPodのときには使えません。

**N iPod/iPhoneドック**

iPod/iPhoneを差し込みます。

**a ディマー(DIMMER)**

ディスプレイの明るさを暗くします。ディマー機能をオンにすると、徐々に暗くなります。

**b リピート(↺)**

入力ソースがiPodまたはCDのとき、リピート再生に使用します。

**c シャッフル(↻)**

入力ソースがiPodまたはCDのとき、シャッフル/ランダム再生のオン/オフを切り換えます。

**d MP3モード(MP3 MODE)**

MP3の再生中に、曲の情報の表示を切り換えます。

**e プリセット(PRESET)/スクロール(SCROLL) (✓/⏮)**

入力ソースがiPodのとき、iPod/iPhoneのメニューのスクロールに使用します。MP3の再生中に、フォルダーを選ぶのに使用します。また、ラジオ受信中に、プリセットした放送局を選ぶのに使用します。

**f 低音調節(BASS)**

このボタンと音量つまみ(VOLUME)で、低音を調整します。

**g 高音調節(TREBLE)**

このボタンと音量つまみ(VOLUME)で、高音を調整します。

**h FM/AM**

ラジオ受信中に、FMとAMを切り換えます。

**i FMモード(FM MODE)**

FMラジオ受信中に、ステレオとモノラルを切り換えます。

**j スリープ(SLEEP)**

スリープタイマーの設定に使用します。

**k メニュー(MENU)**

入力ソースがiPodのとき、iPod/iPhoneの前のメニューに戻るのに使用します。

**l 選択(SELECT)**

入力ソースがiPodのとき、iPod/iPhoneのメニューの選択の確認に使用します。

**m 消音(MUTING)**

一時的に音を消します。

## ④ iPod/iPhone

### 本機で利用できるiPod/iPhone

iPod 第4世代、第5世代(ビデオ)  
iPod classic  
iPod nano 第1～第5世代  
iPod touch 第1～第3世代  
iPod mini

- iPod付属のドックアダプター、またはApple Storeでアクセサリとして入手可能なアダプターをご使用ください。

iPhone 3G/3GS

- 本機に付属のドックアダプターをご使用ください。

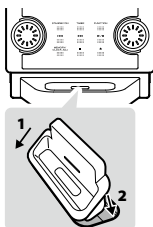
下記の弊社ホームページのiPod/iPhone対応表もご参照ください。

[http://www.teac.co.jp/audio/teac/support\\_ipod.html](http://www.teac.co.jp/audio/teac/support_ipod.html)

### ドックアダプターのセット

ドックアダプターの前面を取付用の穴に合わせて差し込み、アダプターの後方を「カチッ」と音がするまで押し込みます。

- ドックアダプターを外す場合は、左右をつかみ、ゆっくりと引き抜いてください。



### 時計シンクロ機能(iPhoneのみ)

入力ソースがiPod、CD、またはAUXのときにiPhoneを本機のドックにセットすると、本機の時計は自動的にiPhoneの時計と同じ時刻にセットされます。

- シンクロには約30秒かかります。
- シンクロ中には、シンクロ中であることを示すアイコンなどは特に表示されません。

## ⑤ ディスクについて

### 本機で再生できるディスク

「COMPACT disc DIGITAL AUDIO」  
ロゴマークのあるCD(12cm)



8cmCDは使用しないでください。

音楽CDフォーマットで正しく記録され、ファイナライズされたCD-RおよびCD-RW。  
または、MP3ファイルが記録され、ファイナライズされたCD-RおよびCD-RW。

本機は上記のディスクを再生することができます。上記以外のディスクは再生できません。

△ 上記以外のディスクを再生すると、大音量のノイズを発生してスピーカーを破損したり、聴覚を傷付ける恐れがあります。上記以外のディスクは絶対に再生しないでください。

- コピーコントロールCDやDual Discなど、CDの標準規格に準拠していない特殊なディスクは正常に再生できないことがあります。本機で特殊なディスクを使用した際の動作や音質については保証致しかねます。特殊なディスクの再生に支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問い合わせください。

### CD-R/CD-RWについて

本機は音楽CDフォーマット(CD-DA)とMP3形式で記録されたCD-R/CD-RWを再生することができます。

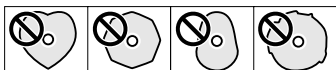
- CDレコーダーで作成したディスクは、忘れずにファイナライズしてください。
- ディスクの品質、録音の状態によっては、再生できないことがあります。詳しくはお手持ちの機器の説明書をお読みください。
- CD-RやCD-RWディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクの発売元にお問い合わせください。

### 使用上の注意

- 8cmCDは使用しないでください。故障の原因になります。
- ヒビが入ったディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。
- ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて再生ができなくなる場合があります。
- 市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。

## ⑥ MP3について

- ハート形や八角形など特殊形状のCDは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。



### ディスクの取扱い

- ディスクは、必ずレーベル(印刷)面を手前にしてセットしてください。
- 信号録音面(レーベルがない面)に傷、指紋、汚れなどがあると、再生時にエラーの原因となることがありますので、お取り扱いにはご注意ください。
- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。



取り出し方



持ち方

### ディスクの保管について

- 使用後のディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所には放置しないでください。ディスクが変形・変質して、再生できなくなるおそれがあります。
- CD-R/CD-RWは、通常のCDと比べて熱や紫外線の影響を受けやすいため、直射日光が当たる場所や熱を発生する器具の近くなどに長時間放置しないでください。
- ディスクの汚れは音飛びや音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。

### お手入れ

- 信号録音面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。



- レコードクリーナー、帯電防止剤、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。

本機はCD-R/CD-RWに記録されたMP3ファイルを再生することができます。

- 再生可能オーディオファイルフォーマット  
MP3 (拡張子「.mp3」)  
ビットレート 8kbps ~ 320kbps  
サンプリング周波数 44.1kHz、48kHz  
※DRM(著作権保護されたファイル)には対応していません。

### ファイル情報の表示について

本機のディスプレイには半角のアルファベットと数字(1バイト文字)しか表示できません。

- ファイル情報に日本語や中国語などの全角文字(2バイト文字)が使われている場合、再生は出来ませんがディスプレイに正しく表示できません。

### パソコンを使ってMP3ファイルを作成する際の注意

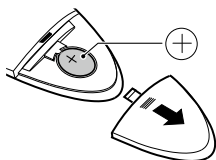
- ファイル名には必ず拡張子「.mp3」を付けてください。拡張子のないファイルは認識できません。
- CD-R/CD-RWへの記録後は、セッションをクローズ(ディスクの作成を完了)してください。セッションがクローズされていないディスクは再生できません。
- 本機で対応できる最大曲数は500曲、最大フォルダー数は200です。最大数を超えて記録されている場合は正しく再生できないことがあります。

## ⑦ リモコンの使い方

### 使用上の注意

- △ 乾電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。上段の注意「電池の取り扱いについて」をよく読んでお使いください。
- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、5メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
  - 本体のリモコン受光部に日光や照明があたると、リモコン操作ができないことがあります。その場合は本機を移動してみてください。
  - 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

### 電池の入れ方



1. リモコン裏面のフタを外します。
2. +の面を外側にして、コイン型リチウム電池(CR2025)をセットします。
3. フタを閉めます。

### 電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、新しい電池に交換してください。  
使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。

## ⑧ 基本操作

**1 電源ボタン(STANDBY/ON) (⏻/I)を押して電源をオンにする。**

**2 入力切替ボタン(FUNCTION)を押して、ソースを選ぶ。**  
押すたびに以下のように切り替わります。



● AUX IN端子に接続された機器を聴くには、「AUX」を選んでください。

**3 ソースを再生し、音量つまみ(VOLUME)を押して音量を調節する。**

### 消音

一時的に音を消すには、消音ボタン(MUTING)を押します。もう一度押すと元の音量に戻ります。

- 消音中は、ディスプレイに「MUTING」が表示されます。
- 消音中に音量を変更すると、消音は解除されます。

### 低音または高音の調節

**1 低音調節ボタン(BASS)、または高音調節ボタン(TREBLE)を押す。**

低音のレベルを調節するには低音調節ボタン(BASS)を押します。

高音のレベルを調節するには高音調節ボタン(TREBLE)を押します。

**2 3秒以内に、音量ボタン(VOLUME) (+/-)を押してレベルを調節する。**

それぞれ「-4」から「+4」の範囲で調節することができます。

### ディマー(ディスプレイの明るさ)

ディマーボタン(DIMMER)を押すと、ディスプレイと、つまみの周りのライトが暗くなります。

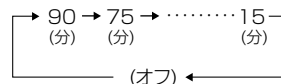
もう一度押すと、元の明るさに戻ります。

- ディマー機能をオンにすると、徐々に暗くなります。
- 電源ボタン(STANDBY/ON) (⏻/I)を押すと、明るさの設定は解除されます。

### スリープタイマー

一定の時間が過ぎると電源をスタンバイにします。

スリープボタン(SLEEP)を繰り返し押すと、以下のように電源がスタンバイになる時間が15分きざみで変わります。



- スリープタイマーが設定されている間は、ディスプレイと、つまみの周りのライトが暗くなります。また、入力ソースを示すインジケータが点滅します。
- スリープタイマーが設定されているときにスリープボタン(SLEEP)を1回押すと、電源がスタンバイになるまでの残り時間が数秒間表示されます。

## ⑨ 時刻合わせ

**1** 電源がオンになっているときは、電源ボタン(STANDBY/ON) (⏻/I)を押してスタンバイ状態にする。

**2** 時刻合わせボタン(CLOCK ADJ)を2秒以上押す。

「12H(12時間)」または「24H(24時間)」が点滅します。  
12時間表示と24時間表示を切り換えるには、スキップボタン(⏮/⏭)を押してください。

- スキップボタン(⏮/⏭)の代わりに、設定つまみ(MULTI JOG)も使えます。
- 10秒以上放置すると、時刻合わせは解除されます。

**3** 時刻合わせボタン(CLOCK ADJ)を押す。

「時」表示が点滅します。

**4** スキップボタン(⏮/⏭)を押して「時」を合わせ、時刻合わせボタン(CLOCK ADJ)を押して決定する。

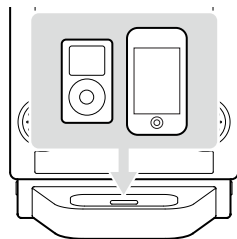
「分」表示が点滅します。

**5** 同じようにして、「分」、「年」、「月」、「日」を合わせる。

「日」を決定すると時刻合わせが終了し、時計がスタートします。

- 「年」は時刻合わせのときしか表示されません。
- 入力ソースがiPod、CD、またはAUXのときにiPhoneを本機のドックにセットすると、本機の時計は自動的にiPhoneの時計と同じ時刻にセットされます。(10ページ「時計シンクロ機能」)

## ⑩ iPod/iPhoneを聴く



本機のドックにiPod/iPhoneを差し込み、iPod/iPhoneの再生/一時停止ボタン(▶/⏮)を押す。

本機の電源が自動的にオンになり、iPod/iPhoneのプレイリストを再生します。

入力ソースがCDのときにiPod/iPhoneがドックにセットされていると、ディスクカバー開閉ボタン(▲)を押してもカバーは開きません。ディスクカバーを開けるときは、iPod/iPhoneをドックから外してください。

- お使いのiPodに合ったドックアダプタをセットしてからお使いください。(10ページ「iPod/iPhone」)
- iPod/iPhoneをドックにセットすると、本機の電源が自動的にオンになり、iPod/iPhoneの再生を始めます。
- 本機のドックにiPod/iPhoneをセットすると、本機の電源がオンになっている間は常にiPod/iPhoneを充電します。ただし、AMラジオ受信時には充電しません。
- iPod/iPhoneにヘッドホンが差し込まれている場合、本機のスピーカーとヘッドホンの両方から音が出ます。
- 入力ソースがiPodのときには、停止ボタン(■)は使えません。
- 入力ソースがiPod以外のときに、ドックにビデオ再生中のiPod/iPhoneをセットすると、本機はビデオの音の再生ではなく、iPod/iPhoneのプレイリストを再生します。

入力ソースがFMまたはAMのときに、iPhoneをドックにセットすると、iPhoneのディスプレイに「This accessory is not made to work with iPhone」と表示されます。

- ➔ iPhoneが一時停止状態のとき
  - 1. iPhoneで「No」を選ぶ。
  - 2. CD-X70iの入力切替ボタン(FUNCTION)を押して、入力ソースに「iPod」を選ぶ。
  - 3. 再生/一時停止ボタン(▶/⏮)を押して、再生を開始する。
- ➔ iPhoneが再生中のとき
  - そのまま数秒間経つと、CD-X70iの入力ソースが自動的に「iPod」に切り換わり、iPhoneの再生を始めます。

## ⑩ iPod/iPhoneを聴く(続き)

### iPodモードにする

入力切替ボタン(FUNCTION)を押して、「iPod」を選びます。

- 再生中のiPod/iPhoneがドックにセットされている場合、自動的に再生が始まります。
- iPod/iPhoneがドックにセットされていないときに入カソースに「iPod」を選ぶと、iPodインジケーターが点滅します。

### 再生を一時停止する

再生中に、再生/一時停止ボタン(▶/⏏)を押すと再生が一時停止します。

一時停止中に再生/一時停止ボタン(▶/⏏)を押すと、再び再生を始めます。

### 曲をスキップする

再生中にスキップボタン(⏮/⏭)を押すと、前または次の曲にスキップして再生を始めます。希望する曲番になるまで、続けて押してください。

選択された曲の始めから再生を始めます。

- 再生中は、⏮を1回押すと再生中の曲の始めに戻ります。それより前の曲を再生したいときは、⏮を続けて押してください。

### 早送り/早戻しする

再生中にスキップボタン(⏮/⏭)を押したまましていると、早送り/早戻しができます。聴きたい部分で指をはなしてください。

### iPod/iPhoneの前のメニューに戻る

メニューボタン(MENU)を押すと、ひとつ前のメニューを表示します。

iPodのMENUボタンと同じ機能です。

### iPod/iPhoneのメニュー項目を選ぶ

スクロールボタン(▽/△)を使って項目を選び、選択ボタン(SELECT)を押します。

### シャッフル再生

再生中にシャッフルボタン(🔀)を押す度に、以下のようにシャッフルのモードが切り換わります。

→ 曲 → アルバム → オフ →

- シャッフルをオンにしたときには、iPod/iPhoneのディスプレイに🔀が表示されます。

### リピート再生

再生中にリピートボタン(🔁)を押す度に、以下のようにリピートのモードが切り換わります。

→ 一曲リピート → 全てリピート → オフ →

- 「1曲リピート」にしたときには、iPod/iPhoneのディスプレイに🔁が表示されます。
- 「全てリピート」にしたときには、iPod/iPhoneのディスプレイに🔁が表示されます。

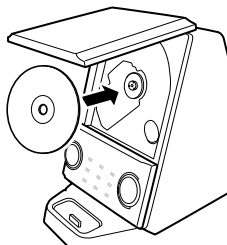
## ⑪ ディスクを聴く

**1** 入力切換ボタン(FUNCTION)を押して「CD」を選ぶ。

**2** ディスクカバー開閉ボタン(▲)を押す。

**3** レーベル(印刷)面を手前にして、中央の軸にディスクをセットする。

「カチッ」と音がするまではめ込んでください。



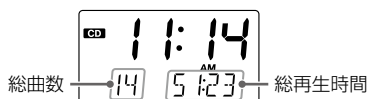
- 8cmCDは使用しないでください。
- 同時に複数枚のディスクを入れないでください。
- ディスクがきちんと軸にセットされ、定位置にあるか確認してください。

iPod/iPhoneがドックにセットされていると、ディスクカバー開閉ボタン(▲)を押してもカバーは開きません。  
ディスクカバーを開けるときは、iPod/iPhoneをドックから外してください。

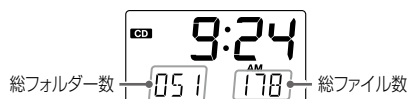
**4** ディスクカバー開閉ボタン(▲)を押してカバーを閉じる。

- ディスクの読み込みには多少時間がかかります。読み込みの間は全てのボタンが機能しません。
- ディスクがセットされていないときは、「NO DISC」が表示されます。

オーディオCD:例

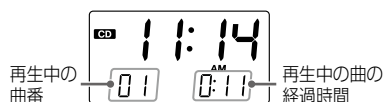


MP3ディスク:例

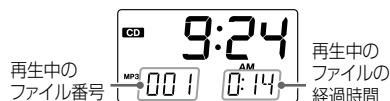


**5** 再生/一時停止ボタン(▶/||)を押して、再生を開始する。

オーディオCD:例



MP3ディスク:例



1曲目から再生が始まります。

- フォルダーに入っていないMP3ファイルは、自動的に「root」フォルダーに入られます。再生は「root」フォルダーの1曲目から始まります。
- 全ての曲の再生が終わると、自動的に停止します。

再生を一時停止する

再生中に、再生/一時停止ボタン(▶/||)を押すと再生が一時停止します。

一時停止中に再生/一時停止ボタン(▶/||)を押すと、再び再生を始めます。

再生を停止する

停止ボタン(■)を押すと再生が停止します。

曲をスキップする

再生中にスキップボタン(◀◀/▶▶)を押すと、前または次の曲にスキップして再生を始めます。希望する曲番になるまで、続けて押してください。

選択された曲の始めから再生を始めます。

停止中は、スキップボタン(◀◀/▶▶)で選曲したあと、再生/一時停止ボタン(▶/||)を押して再生を始めてください。

- 再生中は、◀◀を1回押すと再生中の曲の始めに戻ります。それより前の曲を再生したいときは、◀◀を続けて押してください。
- プログラム再生中は、プログラム中の前の曲、または次の曲が再生されます。

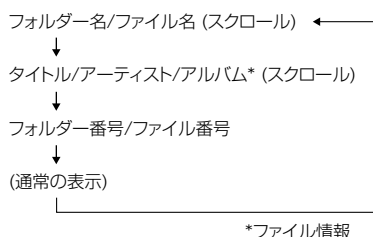
## 11 ディスクを聴く(続き)

### 早送り/早戻しする

再生中にスキップボタン(◀◀ / ▶▶)を押したまましていると、早送り/早戻しができます。聴きたい部分で指をはなしてください。

### MP3情報の表示

再生中にMP3モードボタン(MP3 MODE)を押すと、以下のファイル情報が以下のように表示されます。



もう一度MP3モードボタン(MP3 MODE)を押すと、通常の表示に戻ります。

- フォルダー名/ファイル名の最初の15文字が表示されます。
- タイトル/アーティスト/アルバムの最初の30文字が表示されます。
- ファイル情報を読み取れないときは「\*」が、ファイル情報がないときは、「NO INFO」が表示されます。

### フォルダーを選ぶ(MP3ディスクのみ)

スクロールボタン(SCROLL)(◀/▶)を使ってフォルダーを選びます。選ばれたフォルダーの最初の曲の再生が自動的に始まります。

### ランダム再生(CD/MP3)

再生中または停止中に、シャッフルボタン(⌘)を押します。ディスプレイに「RND」と表示され、ディスクの全曲がランダムに再生されます。

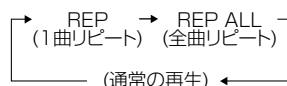
- 以下のボタンを押すと、ランダム再生はキャンセルされます。

シャッフル(⌘)、停止(■)、FM/AM、  
入力切替(FUNCTION)、  
電源(STANDBY/ON)(⏻/⏼)、  
ディスクカバー開閉(⏏)

### リピート再生

リピートボタン(↺)を押すたびに、以下のようにリピートのモードが切り換わります。

#### オーディオCD



#### MP3ディスク



- 以下のボタンを押すと、リピート再生はキャンセルされます。

停止(■)、FM/AM、  
電源(STANDBY/ON)(⏻/⏼)、  
ディスクカバー開閉(⏏)



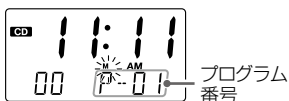
## ⑫ プログラム再生(CD)

再生したい順番に、64曲までプログラムすることができます。

### ❶ 入力切換ボタン(FUNCTION)を押して「CD」を選ぶ。

再生が始まった場合は、停止ボタン(■)を押して停止します。

### ❷ メモリーボタン(MEMORY)を押す。



ディスプレイに「M」が点滅します。

- プログラムを中止したいときは、停止ボタン(■)を押します。

### ❸ (MP3ディスクの場合)

スクロールボタン(▼/▲)を押して、フォルダーを選び、メモリーボタン(MEMORY)を押す。

ディスプレイに、フォルダーの最初のファイル番号が表示されます。

- フォルダーに入っていないMP3ファイルは、「root」フォルダーに入っています。

### ❹ スキップボタン(◀◀ / ▶▶)を押して曲を選び、メモリーボタン(MEMORY)を押す。

選択した曲がプログラムされ、「P-02」が表示されます。

- スキップボタン(◀◀ / ▶▶)の代わりに、設定つまみ(MULTI JOG)も使えます。
- 複数の曲をプログラムするには、❸～❹の手順を繰り返してください。

### ❺ プログラムが終わったら、再生/一時停止ボタン(▶/||)を押してプログラム再生を始める。

- プログラム再生が終了した後に、再びプログラム再生をするには、再生/一時停止ボタン(▶/||)を押します。

### プログラムの順番をチェックする

停止中にメモリーボタン(MEMORY)を押すたびに、プログラム番号とプログラムした曲番が順番に表示されます。

### プログラムの最後に曲を追加する

停止中に、「00」または「000」が表示されるまで、メモリーボタン(MEMORY)を繰り返し押します。

左の❸～❹の手順で追加したい曲を選びます。

選択した曲がプログラムの最後に追加されます。

### プログラムの一部を書き換える

停止中に、書き換えたいプログラム番号が表示されるまでメモリーボタン(MEMORY)を繰り返し押します。

左の❸～❹の手順で追加したい曲を選びます。

選んだプログラム番号が選択した曲に書き換えられます。

### 全てのプログラム内容の消去

停止中に、メモリーボタン(MEMORY)を押し、次に停止ボタン(■)を2秒以上押します。

- 以下のボタンを押した場合も、全てのプログラム内容が消去されます。

FM/AM、  
入力切替(FUNCTION)、  
電源(STANDBY/ON)(⏻/⏻)、  
ディスクカバー開閉(⏮)

- 電源プラグがコンセントから抜かれたときも、全てのプログラム内容が消去されます。

## ⑬ ラジオを聴く

**1** 入力切換ボタン(FUNCTION)を押して「FM」または「AM」を選ぶ。

● リモコンのFM/AMボタンでも選べます。

**2** 選局する。

→ 自動選局

選局ボタン(◀▶/▶▶)を押し続けて、自動選局が始まったら指をはなしてください。

放送局を受信すると自動的に止まります。

聴きたい放送局が見つかるまで繰り返してください。

● 自動選局を停止するには、選局ボタン(◀▶/▶▶)を軽く押します。

→ マニュアル選局

選局ボタン(◀▶/▶▶)を押すと、一定のステップで周波数が変わります。

聴きたい放送局が見つかるまで繰り返し押してください。

### FMのステレオ/モノラルの切換え

FMモードボタン(FM MODE)を押すたびに、FM放送のステレオ受信とモノラル受信が切り換わります。

#### ステレオ

FMステレオ放送をステレオで受信します。

FMステレオ放送の受信中はディスプレイに「ST」と表示されます。

#### モノラル

FM放送をモノラルで受信します。

ステレオ放送の受信状態が悪いときはこのモードを選んでください。音はモノラルになりますがノイズを減らすことができます。

### 受信状態が悪いときは

FMの場合は、アンテナの向きを変えてみてください。

AMの場合は、アンテナは本体に内蔵されていますので、本体の向きや位置を変えてみてください。

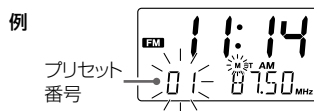
### 放送局のプリセット

よく聴く局を、FM20局、AM20局まで、あらかじめ登録(プリセット)しておくことができます。

**1** 登録したい放送局を受信する。

**2** メモリーボタン(MEMORY)を押す。

**3** 4秒以内に、プリセットボタン(∨/∧)を押して、受信中の放送局を登録したいプリセット番号を選ぶ。



プリセット番号と「M」インジケーターが点滅します。

**4** 4秒以内に、メモリーボタン(MEMORY)を押す。

受信中の放送局が記憶され、「M」インジケーターが消えます。

さらに他の放送局を登録するときは、**1**から**4**の手順を繰り返します。

### 登録した放送局を聴く

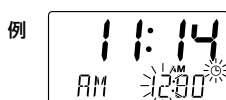
FMまたはAMラジオ受信中に、聴きたい放送局になるまでプリセットボタン(∨/∧)を繰り返し押します。

## 14 目覚ましタイマー

設定した時間になると電源がオンになるように、目覚ましタイマーを設定できます。

- 目覚ましタイマーを設定する前に、現在時刻を合わせてください。(13ページ「時刻合わせ」)
- 電源がオン/スタンバイのどちらでも設定できます。ただし、スタンバイのときは、本体のボタンが使えませんので、リモコンを使って設定してください。

- 1** ディスプレーに、目覚ましタイマーインジケーター(⓪)の点滅と、オン時間が表示されるまで、タイマーボタン(TIMER)を押し続ける。



「時」表示が点滅します。

- 10秒以上放置すると、目覚ましタイマー設定モードは解除されます。

- 2** スキップボタン(◀◀ / ▶▶)を押してオン時間の「時」を合わせ、タイマーボタン(TIMER)を押す。

「分」表示が点滅します。

- スキップボタン(◀◀ / ▶▶)の代わりに、設定つまみ(MULTI JOG)も使えます。

- 3** スキップボタン(◀◀ / ▶▶)を押してオン時間の「分」を合わせ、タイマーボタン(TIMER)を押す。

オフ時間が表示され、「時」表示が点滅します。

- 4** スキップボタン(◀◀ / ▶▶)を押してオフ時間の「時」を合わせ、タイマーボタン(TIMER)を押す。

「分」表示が点滅します。

- 5** スキップボタン(◀◀ / ▶▶)を押してオフ時間の「分」を合わせ、タイマーボタン(TIMER)を押す。

- 6** スキップボタン(◀◀ / ▶▶)を押して再生ソース(「CD」、「iPod」、または「TUNER(ラジオ)」)を選び、タイマーボタン(TIMER)を押す。

- AUX(外部入力)はソースに選べません。

- 7** スキップボタン(◀◀ / ▶▶)を押して音量を合わせ、タイマーボタン(TIMER)を押す。

- 音量は「10」以下には設定できません。

設定内容が一つずつ表示され、目覚ましタイマーインジケーター(⓪)が点滅をやめます。

目覚ましタイマーの設定が終了し、タイマーオンの状態になりました。

- 8** 再生ソースを準備する。

**6** で「CD」を選んだ場合は、ディスクをセットしてください。

**6** で「iPod」を選んだ場合は、ドックにiPod/iPhoneを差し込んでください。

**6** で「TUNER(ラジオ)」を選んだ場合は、聴きたい放送局を選局してください。

- 9** 電源がオンになっているときは、電源ボタン(STANDBY/ON)(⓪/I)を押してスタンバイにする。

時計が表示され、目覚ましタイマーインジケーター(⓪)が点灯します。

毎日設定したオン時間になると、電源がオンになりタイマー再生が始まります。

- オン時間になったとき、音量は小さい音で始まり、徐々に設定したレベルまで大きくなります。
- 再生ソースに「TUNER(ラジオ)」が設定されている場合は、最後に選局した放送局でオンになります。
- 再生ソースに「iPod」が設定されていてドックにiPod/iPhoneがセットされていない場合は、ラジオでオンになります。
- 再生ソースに「CD」が設定されていてディスクがセットされていない場合は、ラジオでオンになります。
- 電源オンのときにタイマーオン時間になった場合は、目覚ましタイマーは動作しませんが、そのままタイマーオフ時間になると、電源がスタンバイになります。

### 目覚ましタイマーのオン/オフの切換え

目覚ましタイマーを使わないときは、目覚ましタイマーインジケーター(⓪)が消えるまで、タイマーボタン(TIMER)を押します。

再びタイマーボタン(TIMER)を押すと、オンになります。

- オンに切り換えると、目覚ましタイマーインジケーター(⓪)が点灯し、設定内容が一つずつ表示されます。

- 電源がオン/スタンバイのどちらでも切り換えられます。ただし、スタンバイのときは、本体のタイマーボタン(TIMER)が使えませんので、リモコンを使って切り換えてください。

### 本機が目覚ましタイマーでiPod touch/iPhoneを使用する場合の注意

iPod touch/iPhoneのビデオの音声は、本機が目覚ましタイマーのソースに使えません。

ビデオ再生状態のiPod touch/iPhoneをセットした場合、設定したオン時間になると、ビデオの音声ではなくiPod touch/iPhoneのプレイリストを再生します。

## ⑮ 困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)にご連絡ください。

### 一 般

#### 電源が入らない

- ➔ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。差し込みが不完全ではないかを確認してください。

#### スピーカーから音が出ない

- ➔ 入力切換ボタン(FUNCTION)を押して、入力ソースを選んでください。
- ➔ スピーカーの接続を確認してください。
- ➔ 音量を調節してください。
- ➔ 「MUTING」が点滅しているときは、消音ボタン(MUTING)を押してください。

#### 雑音がする

- ➔ テレビや電子レンジなど、電磁波を出すものからはできるだけ離して設置してください。

#### リモコンで操作できない

- ➔ 電源ボタン(⏻/⏻)を押して、本体の電源をオンにしてください。
- ➔ 電池が消耗していたら、新しい電池に交換してください。
- ➔ リモコンは本体の正面から5メートル以内の距離で、本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- ➔ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できませんので、位置を調整してください。
- ➔ 本体の近くに強い光の照明がある場合は、照明を切ってください。

#### CDプレーヤー

##### 再生できない。

- ➔ ディスクが裏返しになっている場合は、ディスクのレーベル(印刷)面が手前になるようにセットしてください。
- ➔ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
- ➔ 何も録音されていないディスクが入っている場合は、録音されているディスクを入れてください。
- ➔ ディスクの品質や録音状態によっては、CD-R/CD-RWを再生できないことがあります。
- ➔ ファイナライズされていないCD-R/CD-RWは本機で再生できません。

##### 音飛びがする。

- ➔ 震動を与えると音飛びします。本機は安定した場所に設置してください。
- ➔ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
- ➔ 傷が付いたディスクは使わないでください。

##### ディスクカバーが開かない

- ➔ 入力切換ボタン(FUNCTION)を押して、「CD」を選んでください。
- ➔ iPod/iPhoneがドックにセットされていると、ディスクカバー開閉ボタン(▲)を押してもカバーは開きません。ディスクカバーを開けるときは、iPod/iPhoneをドックから外してください。

#### iPod/iPhone

##### iPod/iPhoneをドックにセットできない

- ➔ お使いのiPod/iPhoneに合ったドックアダプタを本体にセットしてください。
- ➔ 本機のドックコネクタやiPod/iPhoneのコネクタ部分からほこりやゴミを取り除いてください。

##### 再生できない

- ➔ iPod/iPhoneを一度本体から外し、数秒経ってからセットし直してみてください。
- ➔ 最新のiPod/iPhoneソフトウェアにアップデートすることで問題が解決することがあります。

##### iPod/iPhoneの操作ができない

- ➔ iPod/iPhoneのホールドスイッチを解除してください。

##### 充電ができない

- ➔ 入力ソースが「AM」になっているときは、iPod/iPhoneの充電ができません。入力切換ボタン(FUNCTION)を押して、他の入力ソースを選んでください。また、本機の電源がスタンバイのときは充電しません。

#### ラジオ

##### 受信できない。受信状態が悪い

- ➔ 放送局を選局してください。
- ➔ FMの場合は、アンテナの向きを変えてみてください。
- ➔ AMの場合は、アンテナは本体に内蔵されていますので、本体の向きや位置を変えてみてください。

##### FMで、ステレオ放送なのにモノラルになる

- ➔ FMモードボタン(FM MODE)を押して、ステレオ受信に切り換えてください。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源プラグをコンセントから抜き、しばらくしてから再び電源を入れて操作しなおしてください。

#### 工場出荷状態に戻すには

本機が正常に動作しない場合、以下の手順で工場出荷時の初期設定状態に戻すことにより、正常な状態に戻ることがあります。

- 以下の手順では、本体のボタンのみ使えます。

**1** 電源がスタンバイになっているときは、電源ボタン (STANDBY/ON) (⏻/⏻) を押してオンにする。

**2** 入力切換ボタン (FUNCTION) を押して「AUX」を選ぶ。

**3** 停止ボタン (■) を5秒以上押す。

すべての設定内容が消去され、工場出荷時の初期設定に戻ります。

#### 結露現象について

本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、動作部やディスクのレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて1～2時間そのまま放置してください。正常に再生できるようになります。

## 16 仕様

#### アンプ部

定格出力……………合計10W (5W+5W)  
入力感度……………300mV  
周波数特性……………20Hz～20kHz

#### FMチューナー部

受信周波数……………76MHz ～ 90MHz  
感度(S/N30dB) ……25dBμV/m

#### AMチューナー部

受信周波数……………522kHz ～ 1,629kHz  
感度(S/N20dB) ……62dBμV/m

#### CDプレーヤー部

周波数特性……………20Hz～20kHz (±1dB)  
S/N比……………55dB  
ワウ・フラッター……………測定限界以下

#### スピーカー部

型式……………2ウェイバスレフ方式  
使用ユニット  
ツイーター……………2.6cm 圧電型  
ミッド/バスレンジ……………7.5cm コーン型  
インピーダンス……………8Ω

#### 一般

電源……………100V AC、50-60Hz  
消費電力……………30W (スタンバイ時2W以下)  
外形寸法(幅、高さ、奥行)  
本体……………150 x 240 x 235mm  
左右スピーカー……………120 x 181 x 235mm  
質量  
本体……………2kg  
左右スピーカー……………各0.82kg

#### 付属品

リモコン(RC-1266)×1  
リモコン用 コイン型リチウム電池(CR2025)×1  
ステレオミニプラグケーブル×1  
iPhone用ドックアダプター×1  
取扱説明書(本書)(保証書付き)×1

- 仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
- 取扱説明書のイラストは、一部製品と異なる場合があります。

# 保証とアフターサービス よくお読みください。

## ■ 保証書

この製品の保証書は、本書の裏表紙に記載されています。保証書は、お買い上げの際に販売店が「お買上げ日・販売店名」等を記入した上でお渡し致します。記入事項及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間はご購入日から一年です。

## ■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)、もしくは代替製品を製造後8年間保有しています。

## ■ ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社AVお客様相談室(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

## ■ 修理を依頼されるときは

20ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)にご連絡ください。なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

### 保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、修理させていただきます。

### 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

### 修理料金の仕組み

技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。

測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。

部品代: 修理に使用した部品代金です。

その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

その他: 製品を送るために必要な送料/梱包料などがあります。

### 修理の際ご連絡いただきたい内容

型名:CDサウンドシステム CD-X70i

シリアルナンバー:

お買上げ日:

販売店名:

お客様のご連絡先

故障の状況(できるだけ詳しく)

## ■ 廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

## 無料修理規定〈持込修理〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、弊社サービス部門が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センター(裏表紙に記載)またはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センター(裏表紙に記載)にお問い合わせください。
3. ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売店に修理をご依頼にできない場合は、ティアック修理センター(裏表紙に記載)にご連絡ください。
4. 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
  - (1)ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
  - (2)お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
  - (3)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
  - (4)接続している他の機器に起因する故障および損傷
  - (5)業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
  - (6)メンテナンス
  - (7)本書の提示がない場合
  - (8)本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
  - ※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センター(裏表紙に記載)にお問い合わせください。
  - ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間についての詳細は、左をご覧ください。

### 分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。

この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。



# 保証書

品名 および 型名	CDサウンドシステム CD-X70i	
機番		
保証期間	本体	1年

お買上げ日	年 月 日	
お客様	お名前	
	ご住所	電話 ( )

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載の弊社サービス部門またはお買上げの販売店に修理をご依頼ください。

販売店	所在地・名称(印)
	電話 ( )

## 無料修理規定 <持込修理>

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、下記ティアック修理センターまたはお買上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前に下記ティアック修理センターにお問い合わせください。
- ご転居、ご贈答品等でお買上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、下記ティアック修理センターにご連絡ください。
- 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
  - ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
  - お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
  - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
  - 接続している他の機器に起因する故障および損傷
  - 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
  - メンテナンス
  - 本書の提示がない場合
- (8) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

### 修理メモ

- ※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、下記ティアック修理センターにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間についての詳細は、22ページをご覧ください。

## ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

<http://www.teac.co.jp/>

### この製品のお取り扱い等についてのお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。

お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30~12:00/13:00~17:00です。

#### AVお客様相談室



0570-000-701

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

### 故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。

お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30~17:00です。

#### ティアック修理センター



0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。